

公益社団法人 地盤工学会  
**基 準 部 会**  
 平成 25 年度第 5 回 議事録

|     |                                  |   |        |       |   |     |           |   |
|-----|----------------------------------|---|--------|-------|---|-----|-----------|---|
| 日時  | 平成 26 年 1 月 22 日 (水) 14:00~17:00 |   |        |       |   | 場所  | 地盤工学会 会議室 |   |
| 部長  | 竹下 祐二                            | ○ | ★理事    | 佐藤 毅  | ○ | 幹事  | 仙頭 紀明     | × |
| ★部員 | 浅田 素之                            | ○ | 部員     | 伊貝 聡司 | × | 部員  | 長田 昌彦     | × |
| 部員  | 斉藤 和則                            | × | 部員     | 高柳 剛  | ○ | ★部員 | 浜田 英治     | ○ |
| 部員  | 平井 貴雄                            | ○ | 部員     | 藤原 照幸 | ○ | ★部員 | 峯岸 邦夫     | × |
| 部員  | 吉嶺 充俊                            | × | オブザーバー | 中川 直  | × |     |           |   |

★：H25 年度新任      ○：出席予定      ☆：出席（電子会議）      ◎：代理出席      ×：欠席予定      △：未定

配 付 資 料

| 資料番号       | 資 料  |
|------------|--|
| 資料-25.5.0  | 平成 25 年度 第 4 回基準部会議事録案                           |
| 資料-25.5.1  | 平成 26 年度第 3 次予算案                                 |
| 資料-25.5.2  | 地盤調査関係基準の英訳作業リスト                                 |
| 資料-25.5.3  | 地盤調査規格・基準委員会 WG10「不飽和地盤における現場飽和透水係数の測定方法（仮称）」構成案 |
| 資料-25.5.4  | 旅費支給規程に関する申し合わせ事項案                               |
| 資料-25.5.5  | 会員からの質問（Q&A 集）の HP 様式案                           |
| 資料-25.5.6  | 岩石の一軸引張り試験方法基準化 WG 設立趣意書                         |
| 資料-25.5.7  | 「土質試験 基本と手引き」第二回改訂版 4 刷 増刷検討資料                   |
| 資料-25.5.8  | 理事会（H25/11/29, 12/25（書面会議））開催報告資料                |
| 資料-25.5.9  | 地盤工学表記法委員会 WG1&WG2 合同（12 月 10 日開催）報告資料           |
| 資料-25.5.10 | 室内試験規格・基準委員会 H25 第 3 回委員会（幹事会）（1 月 9 日開催）報告資料    |
| 資料-25.5.11 | 単孔を利用した地下水流向流速測定方法公示文章（案）                        |
| 資料-25.5.12 | 第 49 回地盤工学研究発表会 DS 対応案                           |
| 資料-25.5.13 | 土質試験基準の英文化に対する寄付金に対する要望の趣意（案）                    |
|            |  |
|            |  |
|            |  |
|            |  |
|            |  |
|            |  |
|            |  |
|            |  |
| 回覧資料       | 岩石の一軸引張り試験方法基準化WG13報告書（素案）                       |

## 審議事項

### 1. 前回議事録の確認

(資料-25.5.0)

前回議事録を承認した。

### 2. 全体関係

#### (1) 平成 26 年度第 3 次予算案

(資料-25.5.1)

第 3 次予算案(2 次案からは金額の変更はなし)の内容について竹下部長および事務局から報告があり、技能試験の方向性について検討した。

#### (2) 平成 25 年度基準部の活動について (継続)

#### 理事会予備審議 基準英訳の緊急性について

①中期目標における基準の英文化に関する、地盤工学会としての戦略に関して (資料-25.5.2, 25.5.13) 英文翻訳化に関する戦略(案)について佐藤理事から説明があり、方針について議論された。土質試験・地盤調査基準の英文化に対する寄付金に対する要望の趣意(案)について、理事会予備審議にかけることとなった。

②試験基準の ISO 化に際しての確認事項に関して

③その他

・第 49 回地盤工学研究発表会 「地盤工学会における基準の国際化対応」 DS 対応案

(資料-25.5.12)

DS 対応案を承認した。

### 3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

(2) 地盤調査規格・基準委員会

理事会報告 WG10「不飽和地盤における現場飽和透水係数の測定方法 (仮称)」構成案 (資料-25.5.3)

WG メンバー構成を承認した。

(3) ISO 国内委員会

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

(5) 表記法検討委員会

(6) 技能試験実施委員会

(7) 部員の異動

### 4. ISO 国内委員会 関係

理事会報告 (1) 国際会議派遣 **すべてメール審議済**

① ISO/TC 190/SC 3/WG 10-WG 11 合同会議出席

・行 先：韓国・ソウル

・出張者：坂井グループ・リーダー (鉄道総合技術研究所、ISO/TC190/SC3/WG10 (予備試験法) —convenor、議長職)

・期 間：2014 年 1 月 8 日～1 月 10 日

・理 由：現在、日本 (地盤工学会) は、ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) を主導し、地盤環境向けのスクリーニングに関する日本技術の ISO 化を推進しております。このうち、陰イオン向けテスト・キット検出法 (TK) につきましては、土壌中のクロム(VI)の検出に適用する方法を DTR 化するに至っております。日本技術であるこの TK は、爆薬検知にも有効であることを確認しており、2013 年 9 月の第 28 回 ISO/TC190 年次総会では、爆薬の一種である RDX についても直接適用ができるむね説明し、日本から提案する準備を進めているところです。今般、本件を 2014 年に正規提案するにあたり、所管する ISO/TC190/SC3/WG11 (爆薬) (韓国主導) と予備審議をおこなうことになり、標題の合同会議に出席するものです。

・費 用：本件については、経済産業省支弁となっております。

② クロム(VI)向けテスト・キット検出法の認証試験実施

・行 先：英国・マンチェスター

・出張者：浅田グループ幹事 (清水建設、ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) —project leader (Cr(VI)-TK)、議長職に準じる者)

・期 間：2014 年 1 月 23 日～1 月 26 日

- ・理由：現在、日本（地盤工学会）は、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）を主導し、地盤環境向けのスクリーニングに関する日本技術の ISO 化を推進しております。このうち、陰イオン向けテスト・キット検出法（TK）につきましては、土壌中のクロム(VI)の検出に適用する方法を DTR 化するにまでなっております。本件は、認証試験を実施し、データを添付したうえで 2014 年に開催される ISO/TC 190/SC 3/WG 10 会議で再度提示することになっており、この認証試験を実施するため、関係委員を出張させるものです。
- ・費用：本件については、経済産業省支弁となっております。

### ③ ISO/TC 190/SC 3 連絡会議

- ・行先：ドイツ・ベルリン
- ・出張者：坂井グループ・リーダー（鉄道総合技術研究所、ISO/TC190/SC3/WG10（予備試験法）—convenor、議長職）
- ・期間：2014 年 1 月 22 日～1 月 26 日
- ・理由：日本（地盤工学会）から ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）へ提案・審議している各種案件について、上級委員会において、その取扱方を協議するため、関係委員を出張させるものです。とくに、気候変動わく（CC）で提案予定の有機炭素向け燃焼式 IR 検出法（C-IR）および水分向けショ糖溶液抽出/糖度検出法（RF）については、提案先の整理がなされていないため、この場で確認しておくものです。
- ・費用：本件については、旧重点 TC 指定となっております。

### ④ ISO/TC 190/AHG-Climate change 会議出席

- ・行先：オランダ・デルフト
- ・出張者：
  - (1) 坂井グループ・リーダー（JR 総研、ISO/TC 190/SC 3/WG10（予備試験法）—convenor、議長職）
  - (2) 野上委員（リガク、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）—気候変動わく案件の project leader 候補）
- ・期間：2014 年 2 月 18 日～2 月 22 日（予定）
- ・理由：日本（地盤工学会）は、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）を主導していますが、地盤環境向けのスクリーニングに関する規格案のうち 2 件を ISO 化し、その他 2 件（比濁検出法（TA）および Cr(VI)向けテスト・キット検出法（Cr(VI)-TK））を審議中です。また、新規規格化枠のひとつである気候変動（CC）についても、スクリーニング法の規格化事業の一環として 2 件（有機炭素向け燃焼式赤外検知法（燃焼式 IR）および水分向けショ糖溶液抽出/糖度検出法（RF））を内容提示し、2014 年中に正規に提案する予定です。気候変動わく案件については、提案案件の管理をおこない、また、今後の規格化の方向付けをするため、随時、ISO/TC 190/AHG-Climate change 臨時会議を開催しております。今般、この会議が開催されることになりましたので、関係委員を出張させることにしたものです。
- ・費用：本件については、経済産業省支弁となっております。

### (2) 旅費支給規程に関する申し合わせの制定について

(資料-25.5.4)

平成 25 年 7 月に改正された学会旅費規程により、学会からの要請を受けたメンバーが ISO 関連の国際会議に参加した際に、滞在費を一部自己負担していることが前回の部会で報告され、外部資金により行っている ISO 活動の旅費支給については、改正前の旅費支給規定を適用いただけるよう総務部に上申した。

委嘱を実施した時点での学会旅費規程が適用されること、平成 26 年度以降の取扱いについては引き続き検討中であることが報告された。

## 5. 地盤工学表記法委員会 関係

## 6. 室内試験規格・基準委員会 関係

### (1) 会員からの質問（Q&A 集）の HP 様式案

(資料-25.5.5)

会員からの質問（Q&A）集の HP に掲載について、様式案を承認した。

## 理事会報告

### (2) 岩石の一軸引張り試験方法基準化 WG 設立趣意書

(資料-25.5.6)

基準化 WG の設立を承認した。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

単孔を利用した地下水流向流速測定方法公示文章（案）

（資料-25.5.11）

公示文について承認した。文章ボリュームについて事務局と要調整。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

9. 技能試験実施委員会 関係

10. 基準部所管刊行物

**理事会報告** （1）土質試験 基本と手引き 第二回改訂版 4刷

（資料-25.5.7）

部数：8000部

8000部の増刷について承認した。

11. その他

報告事項

1. 理事会（H25/11/29、12/25（書面会議））開催報告

（資料-25.5.8）

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

（1）ISO 国内委員会

**理事会報告** ① 平成 25 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

| (相手先)               | (金額)   |        | 報告書の有無 | (納期) |  |
|---------------------|--------|--------|--------|------|--|
|                     | 助成     | 受託     |        |      |  |
| ・土木学会               | 100 万円 |        | ○      |      |  |
| ・三菱総合研究所（回答作成）      | 40 万円  |        | ○      |      |  |
| ・三菱総合研究所（旧重点TC旅費）   | 100 万円 |        | ○      |      |  |
| ・日本建設業連合会           | 50 万円  |        | ○      |      |  |
| ・ISO/TC190 関係（研究委託） | 50 万円  |        | ○      |      |  |
| ・三菱総合研究所（国際標準開発事業）  |        | 450 万円 | ○      |      |  |
| 小計                  | 340 万円 | 450 万円 |        |      |  |
| 合計                  | 790 万円 |        |        |      |  |

（2）地盤工学表記法委員会

①WG1&WG2 合同（12月10日開催）報告

（資料-25.5.9）

WGの開催について報告された。

（3）室内試験規格・基準委員会

①H25 第 3 回委員会（幹事会）（1月9日開催）報告

（資料-25.5.10）

②JIS A 1205 土の液性限界・塑性限界試験方法の一部改正の素案について

改正素案に対する意見は1件。改定WG・委員会で検討後上申することが報告された。

（4）地盤調査規格・基準委員会

（5）地盤設計・施工基準委員会

（6）技能試験実施委員会

①幹事会（1月17日開催）報告

報告書とりまとめ中。2月上旬に報告書を完成させ、参加証とともに技能試験参加機関宛て送付予定であることが報告された。

（7）販売促進 WG

（8）英文HP

（9）調査研究委員会企画案（地下水関係）

4. 日本工業標準調査会 土木部会

●H25 年度 基準部関係委員会開催状況

| 委員会名   |  | 委員会開催日、太字は次回開催日  |
|--|--|--|
| 基準部会   | 竹下 祐二  | 5/7, 7/2, 8/27 幹事会, 9/17, 11/19<br>1/22  |
| ISO 国内委員会<br>・WG1 ISO/TC182 対応<br>・WG2 ISO/TC190 対応<br>TC190/SC3/WG10 対応 WG<br>・WG3 ISO/TC221 対応   | 今村 聡<br>木幡 行宏<br>和田信一郎<br>坂井 宏行<br>宮田 喜壽   | 6/21, 8/23 幹事会<br><br>6/7, 7/27, 8/27, 9/2, 10/7, 10/22,<br>11/12, 12/11, 1/14   |
| 室内試験規格・基準委員会<br>・WG1 物理特性<br>・WG2 化学特性<br>・WG3 透水・圧密特性<br>・WG4 力学特性<br>・WG5 安定化・締固め特性<br>・WG6 ジオシンセティックス<br>・WG7 ベンダーエレメント試験基準化<br>・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG<br>・WG12 岩石の繰返し強度試験方法基準化 WG<br>・WG13 岩石および岩盤の一軸引張り試験方法基準化検討 WG<br>・WG14 過酸化水素水を用いた pH 試験方法基準化検討 WG  | 川崎 了<br>(小口秀俊)<br>(乾 徹)<br>(大向直樹)<br>(塚本良道)<br>(安部哲生)<br>椋木 俊文<br>山下 聡<br>大島 昭彦<br>伊藤 洋<br>谷 和夫<br>川地 武                                | 7/19, 10/24 幹事会, 1/9 幹事会, <b>2/20</b><br><br>6/7, 9/19, 20, 12/20, <b>2/10</b><br><br>4/19, <b>2/24</b><br><br>10/2, 12/4, <b>1/27</b> |
| 地盤調査規格・基準委員会<br>・WG1 物理探査・検層<br>・WG2 ボーリング・サンプリング<br>・WG3 地下水<br>・WG4 サウンディング<br>・WG5 載荷試験<br>・WG6 現場密度試験<br>・WG7 現地計測<br>・WG8 環境化学分析のためのサンプリング<br>・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査<br>・WG10 不飽和地盤における現場飽和透水係数の測定方法 (仮称)<br>・WG11 動的コーン貫入試験方法基準化WG<br>・WG12 「地盤調査-基本と手引-」改訂編集WG<br>・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG<br>・WG14 単孔を利用した地下水流向流速測定方法の新規基準化WG | 利藤 房男<br>斉藤 秀樹<br>正垣 孝晴<br>中村 裕昭<br>大島 昭彦<br>大島 昭彦<br>三嶋 信雄<br>上野 将司<br>江種 伸之<br>長田 昌彦<br>西垣 誠<br><br>大島 昭彦<br>日比 義彦<br>伊藤 高敏<br>進士 喜英 | 8/5, 11/5, 3/3<br><br>10/3, <b>3/20</b><br><br>8/5, 9/2, 9/9 校正会 ( <b>解散</b> )<br>4/19<br>4/23, 5/27, 10/3, <b>1/24</b>                |
| 地盤設計・施工基準委員会<br>・WG1 土構造物<br>・WG2 杭の水平載荷試験<br>・WG3 グラウンドアンカー<br>・WG4 サンドコンパクションパイル工法<br>・WG5 地山補強土   | 木幡 行宏<br>本城 勇介<br>中井 正一<br>山田 浩<br>寺師 昌明<br>龍岡 文夫  |  |
| 地盤工学表記法<br>・WG-A   | 大島 昭彦  | 4/11, 6/14, 8/7, 10/17, <b>2/10</b>  |
| 技能試験実施委員会  | 日置 和昭  | 4/11   |

## 5. その他

1) 理事会 (平成26年 1月31日 (金)) への審議事項・報告事項

2) 総務部会（平成 26 年 2 月 18 日（火）開催予定）への提案事項

3) 次回以降の部会開催日

- **25 年度第 6 回**：平成 26 年 3 月 日（ ） 14:00 時～  
**3/3～3/13 の間で後日日程調整（仙頭幹事よりメール配信）**  
（対応理事会 H26.3.14 or H26.4.23）
- 26 年度第 1 回：平成 26 年 5 月 日（ ） :00 時～  
（対応理事会 H26.5.16 or H26.6. ）

★ 平成 25 年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

◎理事会

- ① 4 月 24 日（金） ※書面審議
- ② 5 月 13 日（月）
- ★ 6 月 13 日（木） 総会／理事会
- ③ 6 月 20 日（木） ※書面審議
- ④ 7 月 19 日（金）
- ⑤ 9 月 27 日（金）
- ⑥ 10 月 23 日（水） ※書面審議
- ⑦ 11 月 29 日（金）
- ⑧ 12 月 18 日（水） ※書面審議
- ⑨ 1 月 31 日（金）
- ⑩ 2 月 19 日（水） ※書面審議
- ⑪ 3 月 14 日（金）

- 
- ⑫ 4 月 23 日（水） ※書面審議
  - ⑬ 5 月 16 日（金）
  - ★ 6 月 12 日（木） 総会/理事会